

自己評価及び外部評価結果

令和6年度

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1473800611	事業の開始年月日	平成16年3月1日
		指定年月日	平成16年3月1日
法人名	特定非営利活動法人 都筑の丘		
事業所名	グループホーム 都筑の丘		
所在地	(〒224-0057)		
	神奈川県横浜市都筑区川和町1705		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	27名
		エント数	3エント
自己評価作成日	令和7年1月20日	評価結果 市町村受理日	令和7年6月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

昨年は創立20周年となり横浜市社会福祉協議会により会長顕彰の表彰状を11月14日関内ホールで行われた第44回横浜市福祉大会で頂きました。この受賞がGH都筑の丘の新たな一歩となり、地域福祉の発展と向上のため、より一層の努力をいたします。ご入居者、ご家族、職員、地域の方々にも楽しんでいただけるようイングリッシュガーデンを作りました。2月の河津桜が咲きはじめると、その後は様々な種類の梅や桜が咲き始め春爛漫です。今年は横浜イングリッシュガーデンのスタッフのお力を借りた美しいバラが沢山咲いてくれることでしょうか。四季折々に咲く花々や、露の臺、玉ねぎ、さつま芋、キウイフルーツ、みかん、栗や柿は収穫の喜びと食べる楽しみがご入居者を元気にしてくれます。広い庭を散歩して疲れたらガゼボで一休みします。庭から見える富士山を眺め「富士山が見れるなんて最高ね。」と喜ばれます。食べることを大切に3食手作りの食事を提供しています。鰹節と昆布でとった出汁を使ったみそ汁や煮物はやさしい味です。旬の野菜や、ひじき、高野豆腐、切干大根、干し椎茸等の乾物は栄養がたっぷりです。時にはご近所の中華屋さんの町中華のラーメンやカツ丼、お寿司などの出前も楽しんでいます。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9F		
訪問調査日	令和7年2月18日	評価機関 評価決定日	令和7年5月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】

当事業所は、横浜市営地下鉄グリーンライン川和町駅から徒歩10分ほどの、自然豊かな2000坪の広い敷地に、2階建ての2ユニットと平屋建ての1ユニットを有する計3ユニットの事業所で、特定非営利活動法人が運営している。周辺に畑や竹林があり、天気の良い日は富士山が望める。建物裏手の敷地には、コロナ禍以降に農園と庭園を整備している。

【環境を活かした自然豊かな生活の提供】

建物裏手の敷地に整備した庭園は四季折々の花が植えられている。大きな河津桜の木には、開花の時期に合わせて近隣の人々も楽しめるようにライトアップを施している。以前から協力してくれている園芸ボランティアの他、横浜イングリッシュガーデンの協力も得て、様々な色や種類のバラを植えた。利用者に少しでも歩いてもらいたい思いから、庭園での散歩を積極的に行っている。四季の花々や樹木は、利用者の目を楽しませ、事業所の理念のひとつである五感を刺激する支援の良い機会となっている。また庭園のなだらかな斜面を活かし、歩行のリハビリを行っている。庭の中央に作られたガゼボで、利用者は散歩途中の休憩ができる。庭木に実る果物や農園での収穫物は、食材として利用者に提供されている。

【理念に根ざし、利用者とともに実現する地域交流】

「地域社会の一員として、心豊かな生活を送れるように支援します」との理念のもと、地域に生まれ、地域のための事業所として、近隣とのつながりを大切にしているのみならず、利用者とともに地域のイベントに積極的に参加している。川和地区福祉ネットワーク交流会の一員として、利用者、職員による作品を地域のイベント「川和アート展」や「川和小学校コミュニティフェスタ」に出展するなどの協力をしている。また、都筑区主催のオレンジガーデニングプロジェクトへの参加では、認知症のカラーであるオレンジの花の種を添えたパンフレットの作成時、利用者が、表紙の花の絵を鮮やかな塗り絵で飾った。また花の種の梱包に参加している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 都筑の丘
ユニット名	みずき棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	グループホーム都筑の丘
ユニット名	やまぶき棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	グループホーム都筑の丘
ユニット名	あじさい棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は各ユニットの職員室に掲示しています。月1回行われるワーカー会議時に声を出し復唱をしています。5つの理念があります。その中に「地域社会の一員として心豊かに生活を送れるように支援します」というのがあります。ご入居者は川和町の住民として生活をしています。	開設時に作成した5項目理念を掲げている。理念は職員室に掲示し、名刺の裏にも明記している。職員は、理念を確認しながら日々のケアにあたっている。地域に生まれ地域のための法人として「地域社会の一員として、心豊かな生活を送れるように支援します」との項目を特に大切に考え、地域を思い、地域に根ざした事業所として貢献していきたいと考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	川和地区福祉ネットワーク交流会に参加しています。今年も「川和アート展」に出品する予定です。（3月23日～4月5日）昨年も川和小学校のコミュニティフェスタに参加しご入居者と職員で作った貼り絵の「都筑の丘の河津桜」は昼の桜と夜の桜の2部構成でとても好評でした。河津桜はご近所の方も楽しみにされているのでライトアップをしています。みどり保育園とは長いお付き合いで七夕の笹を取りにくる七夕交流会、秋のお芋ほりと柿もぎは園児もご入居者も楽しみにしています。今は成人したご入居者のお孫さんも来たことがありお話が弾みました。	町内会に所属し、行事には職員が参加している。川和地区福祉ネットワーク交流会の一員として、地域のイベント「川和アート展」や「川和小学校コミュニティフェスタ」に利用者、職員の作品を出展している。また以前からの園芸ボランティアの他、横浜イングリッシュガーデンの協力を得て整備している、美しい庭園のバラや河津桜を地域の人々にも楽しんでもらう工夫をしている。コロナ禍で中断していたボランティアイベントは、今年度音楽コンサートの再開が決まっている。コンサートを皮切りに、以前のようなボランティアの来所を再開していく予定である。	

3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>近年さびれて行く地域の商店街への地域貢献として開設以来地域の商店を利用しています。米屋、肉屋、電気屋、食品全般の宝屋、中華料理店からは年に数回出前を頼んでいます。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2か月に1回行っていますが11月はコロナ感染が解除となるまで25日もかかってしまいできませんでした。ご家族、民生委員、地域包括支援センターの方、ボランティアの方たちと情報の交換や、相談、時には昔話に花が咲くこともあります。昨年11月に横浜市の運営指導の際、「素晴らしい内容の運営推進会議です。」とお褒めの言葉をいただきました。</p>	<p>2か月に1回開催する運営推進会議には家族、管理者、職員、民生委員、地域包括支援センター職員の他、園芸ボランティアが参加している。家族は持ち回りで1、2組が参加している。地域の情報を報告し合う場になっている。会議であげられた庭の河津桜のライトアップの要望について、地域の方にも庭を楽しんでもらえるようにと実施している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>都筑区役所主催の認知症パネル展に参加し、貼り絵の「都筑の丘の河津桜」を展示し、パンフレットも置かせていただきグループホーム都筑の丘をPRさせていただきました。地域ケアプラザが主催する川和地区福祉ネットワークの会議には管理者が参加しています。6月に行われた川和アート展のプレイベントに都筑の丘として「豚汁」で参加をする予定でしたが200人分の豚汁を作ることが難しく今回は出店ができませんでした。次回は何らかの形で参加したいと思います。</p>	<p>都筑区高齢障害支援課、生活保護を受給している利用者がある場合には、生活支援課と連携している。区役所のイベントに協力しており、「認知症パネル展」に参加したほか、都筑区主催のオレンジガーデニングプロジェクトにも参加している。認知症のカラーであるオレンジの花の種を添えたパンフレットの作成には、花の絵の塗り絵や種の梱包に利用者が参加している。市主催の研修にはオンラインで受講している。また、10月にはグループホーム連絡会の交換研修に参加した。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束はしない」という前提のもとケアをしています。「これって身体拘束？」と思われる場面もあります。その事に気づくことが大事でワーカー会議の時に確認しています。	指針とマニュアルを定め、3ヵ月に1回の全体会議で「身体拘束・虐待防止委員会」を開催している。居室の掃き出し窓からは自由にテラスに出ることができる。帰宅願望の強い利用者には、のどかな環境ならではの近隣の夜の暗さを見せて「バスがないから明日にしましょう」と声をかけるなど、利用者に寄り添い落ち着かせている。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員と身体拘束適正委員会は同時に3か月毎に全体会議時に行っています。入居者の痣や傷はすぐに影像を撮影し管理者に報告をして原因を究明しています。入居者の安全と人権を守る努力をしています。毎年「神奈川県養介護施設従事者による一斉点検」の自己点検を全職員が実施し、その結果をまとめ研修をしています。	指針とマニュアルを定め、3ヵ月に1回の全体会議で身体拘束適正化委員会と虐待防止委員会を同日開催している。スピーチロックなど不適切と思われるケアに接したときは管理者が職員の肩に手を置き注意を促している。また職員が受けるハラスメントについて、外部講師による講習を実施した。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご入居者の権利を尊重して守ることの大切さをも含めて研修をしています。職員もしっかり理解しています。現在は成年後見人制度を利用されている方はいませんが、以前に事例として学びました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に相談員が利用者、及び代理人の権利（第10条）義務（第13条）契約解除（第14条）等をわかりやすく説明をしてご理解していただき同意を得て契約をしています。		

10	7	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎年外部評価でいただいた家族アンケートはたくさんのご意見をいただきとてもうれしいです。改善できることは速やかに改善し反映しています。いただいたご意見には文書でお答えしています。面会時にいただいたご意見、提案も職員と相談、話し合いをしてすぐに対応をしています。</p>	<p>家族からの意見は面会時や電話連絡時に聴取している。また、外部評価の家族アンケートも参考にしている。家族へは「ハロー都筑の丘」という季刊誌を送付し、利用者の様子を伝えている。面会は体調不良がないことを確認の上、自由に行っている。家族からの意見や提案には個別に文書で回答し、内容は個別ファイルに記載して共有している。</p>	
----	---	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務の中で発生した問題点は速やかにその場で話し合い解決するようにしています。月に1度のワーカー会議で職員からの些細な事でも要望、提案等を聞いて改善に繋げています。最近では職員よりエプロンに関し、どの体系でも動きやすく男女を問わない色で汚れが目立たないエプロンにしてほしいという要望があり職員と検討し、エプロンの専門店にオーダーをし2種類のデザインを作り好きなデザインのエプロンを選んで着用しています。職員からは「動きやすくて着やすい。」と好評です。	月1回ユニット毎に実施するワーカー会議はケアカンファレンスも兼ねている。業務での問題点はその場で解決、改善につなげている。管理者も日々のケアを担当するため、職員との距離が近く、意見を言いやすい環境となっている。職員からの意見として、エプロンの改良の提案があがり、専門家に依頼した。2種のうち好きなデザインを選び着用している。また、職員からの提案で、3食の調理で使う出汁を毎回作るのではなく、夜勤職員が翌日使用分をまとめて作るよう手順を変更した事例がある。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の能力、実績、貢献度などを公平に見極め職員が前向きに安心して働けるような環境を作ることを努力しています。介護職員処遇改善加算は年3回支給しています。10月には社会保険労務士による「安心して働くためのハラスメントセミナー」を行いました。	65歳が定年ではあるが、希望があり、心身が健康であれば働き続けることができる。手当は資格手当の他、勤続年数でも支給される。人事考課の面談は年1回行われている。社会保険労務士と雇用契約を結んでおり、10月にハラスメントについてのセミナーを実施した。職員は社会保険労務士と個別に相談ができるような体制を整えている。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度は、6月に外部講師による「高齢者虐待防止・身体拘束排除のための取組み」というテーマで研修を行いました。第2回目は2月に行います。感染症の研修は神奈川県看護協会の感染管理認定看護師の方に来ていただき3回行いました。N95のマスク、ガウ	研修計画に基づき、外部講師を招いて研修を行っている。「虐待防止、身体拘束排除」「感染症」「ハラスメント」「接遇」について学んだ。次年度以降も外部講師を招く予定である。新人教育は経験やスキルに応じたOJTを行っている。資格は自信につながるものと考え、取得を奨励し、受講料、交通費を支給している。	

			<p>ン着脱のチェック、都筑の丘の感染マニュアルの作成等を指導していただきました。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>横浜市高齢者グループホーム連絡会の介護職員現場交流交換研修に参加しました。都築福祉保健センター福祉保健課主催の感染対策研修に参加しました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご家族に書いて頂いたアセスメントをもとにご本人から話を聴きながら緊張や不安を取り除くようにしています。職員だけでなく他入居者も会話に加わると話が弾み新たな情報が引き出せます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のご入居者に対しての思いや、ホームへのご希望等を遠慮なくいつでも相談していただけるように面会時や電話でしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	突然今までと異なる環境になり不安な気持ちを職員は理解し、GHの生活に慣れていただくことを短期目標にしてその方に必要な支援を見極めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	9人の入居者と職員が下宿屋さんのように生活することが理想です。それぞれの得意分野を職員が把握してご入居者と協働しています。人生の大先輩として教えていただくこともあります。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在は面会時間内はご家族のマスク着用を条件に時間、人数制限なしでホーム内好きな場所で面会をしていただいています。ご家族と庭の散歩をしてから居室で、ご家族がお		

			持ちになられた好きなものを食べたり、おしゃべりをされています。時にはお孫さんやワンちゃんまで加わりぎやかに過ごされご家族も安心されます。		
--	--	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会ができない今は、手紙と電話でお話をされる方もいます。手紙が読めない方には代読し、電話で話しが通じない時もありますので職員がそばについてフォローしています。認知症が進行しご家族が分からなくなってしまった方や電話をくださる方も認知症で何度も電話がかかってきたり、エンドレスで話されたりしますので職員が間に入り対応することもあります。	知人、友人の訪問があり、家族の同席のもと面会を実施している。電話の取り次ぎ、手紙送付の支援も行っている。本年の年賀状は絵手紙の作成と送付を支援し、家族に喜ばれた。読書の趣味を継続している方や、化粧の習慣を持ち、口紅や眉墨を使う方がいる。園芸が好きな方が庭の草取りや手入れを楽しまれている。	

21		<p>○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>終日繰り返される帰宅願望や同じ話しの繰り返しの話を根気よく聞いてくれたり、洗濯物の畳みや食器拭きを担当をきめながら自主的にやって下さいます。お互いの部屋に行ったり来たりしてお話をされています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退去をされるとご本人との関係性はなくなりますが、ご家族はボランティアとしてきてくださったり、ホームを紹介してくださったり、年末になると毎年カレンダーをもって来てくださる方もいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	帰宅願望、入浴拒否があっても当たり前なことと受け止め、ご本人の不安な気持ちを根気よく聴きます。入浴時や散歩の時などはゆっくりお話を聴く事が出来ます。コロナの感染時、居室隔離対応だったので、職員があわただしく動いていて食事を居室に運んでいました。その時にご入居者のMさんから「きょうはご飯が冷たくて悲しくなりました。きょうは冷やご飯だったんですか。」と涙ぐみながら言われハットしました。早く効率よく配膳するためにご飯もみそ汁も早めに盛り付けていました。Mさんには深くお詫びし、すぐに職員へこのことを話し配膳する直前に盛り付け「温かいご飯とみそ汁」を提供するようにしました。この件はそれぞれのユニットの職員にも報告し食事の提供方法も変えました。	入居前のアセスメントで家族や前任の介護支援専門員から意向の聴取を行っている。日常のケアにおいて、利用者本人の気持ちを汲み取る会話を常に心がけている。1日おきの入浴の時間は利用者と1対1の会話をしながら、意向を汲み取れる貴重な機会として捉えている。聞き取った利用者の意向を個別ファイルの「報告書」に記録して職員間で共有している。言葉の出にくい利用者には職員がそばに寄り添うことで、動作や発する声の様子で推し量っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に幼少期から現在までの生活をご家族と一緒にアセスメントをします。職員との会話の中でご家族もしらなかったエピソードなどもあり報告すると喜ばれます。		

25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>その日の体調、気分、天候等を視野に入れながら過ごして頂いています。嫌なことは強制はせず、好きなテレビや得意なお手伝いをされたり、1人が好きな方は居室ですごされています。コロナの居室隔離対応の時は「一人で部屋で本を読んだり、手紙を書いたりできるので落ち着いていいです。体操もやらなくていいしね。」と言われた方もいました。</p>		
26	13	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>身体機能の衰えや認知症の進行などを感じた時はその都度対応方法を話しあいます。ご家族や往診医に相談することで介護計画を変更しています。ワーカー会議時にモニタリングをしています。</p>	<p>毎月のワーカー会議で全員分のケアカンファレンスを行い、職員の意見を取り入れてモニタリングを実施している。往診時の医療情報も介護計画に取り入れている。介護計画の見直しは6ヵ月毎とし、変化があった際はその都度見直している。計画の変更はワーカー会議で報告周知している。</p>	<p>介護計画書と日々のケアの連動はされていますが、今後は、具体的なサービス内容が日々のケアで実践されているかをチェックできるように工夫されること、また介護計画の周知を徹底してケアに生かされることを期待します。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子は毎日パソコンで入力し報告書と写真をご家族に送っています。ご家族はホームでの様子がよくわかると安心されています。笑顔の写真はとても喜んでくださいます。職員は入社したらすぐに各ユニットの連絡ノート、業務日報、報告書に目を通し情報の共有をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	川和町内会、地元の商店街、川和地区福祉ネットワーク、地元の消防団、地域包括支援センターなど多くの協力を得て多機能化に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ前は書道、絵手紙、社交ダンス、音楽療法などのボランティアの方に来ていただいていたがコロナ禍以降は中止となってしまいましたが音楽療法は開催方法を変えて行っています。ご近所から野菜や採りたての筍をいただいています。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	さとう内科クリニックの訪問診療に際してはご家族に同意をいただいています。緊急時や薬の変更等はDrから直接ご家族に電話で説明をさせていただきますので、ご家族も安心されています。	月に2回、利用者全員が24時間オンコール体制の協力医の訪問診療を受診している。内科の他、整形外科・精神科・眼科・皮膚科、耳鼻科の訪問診療も可能である。歯科医は入居時に診察をし、必要があれば、週1回往診をしている。また、希望者には歯科衛生士が来所し口腔ケアをしている。看護師は週1回来所し、健康管理をしている。新しく提携した薬局が服用薬のセットまで行っている。医療情報は「受診・入退院記録」により共有をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週日曜日の看護師の健康管理の時には相談にのってくれるので心強いです。でき始めの褥瘡の処置や、とげが刺さった時の処置なども気軽に聞けます。		

32	<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>緊急入院時には訪問医療のさとう内科から迅速に紹介状を送ってもらっています。受診時にはホーム長や管理者が家族と共に同行し、医療機関に情報の提供をしています。退院に向けたカンファレンスには参加していましたが現状は参加はできません。</p>		
----	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	GH都筑の丘の「重度化に関する指針」を基盤とし、ご家族、ご本人の思いを大切にしながら訪問医療のさとう内科と連携しながら終末期に向けたケアに取り組むこともあります。	「重度化対応に関する指針」を元に、入居前の見学時に積極的に看取りは行っていない旨を伝え同意を得ている。重度化の際に、医師を交えて家族と管理者で相談の上、医療行為が必要でない場合に看っていくこととし、昨年1件の看取り実績がある。看取りの状況になった場合は近隣に住む理事長が駆けつけられる体制をとり、夜勤職員の不安軽減に繋げている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナでできなかった応急手当や初期対応の訓練を今年度は2月13日に都筑消防署 川和消防出張所が来てくださり行います。その際に川和出張所の署長より震災講話もしてください。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	認知症のため他所に避難することは困難なので、広い敷地を利用してホームで避難することを考えています。1月14日にBCPの訓練を行いました。川和町の消防団、ご近所の住民の方との協力体制はできています。また、ホームの広い庭が地域住民の方の一時避難所になることも考慮しています。	地域の防災訓練には職員が参加している。10月に夜間想定訓練、2月には震災想定で都筑消防署の協力の下、応急手当での訓練を行った。また1月にはBCPの訓練も実施している。炊き出し訓練も実施した。大規模災害時には避難所ではなく事業所内に留まるための備えをしている。災害時の一時避難場所は、窓などのガラス面がなく、手すりも設置されている各ユニットの入り口近くの廊下と定めている。ガラスの飛散に備え、各居室のベッドは窓際には配置していない。備蓄品はリスト管理している。日常雑貨を浴室脇の倉庫に、紙パンツは各居室に置いている。米や味噌をローリングストックで管理する他、近隣にある法人が所有している倉庫に7日分の食品、飲料水を備蓄し	

				ている。	
--	--	--	--	------	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	GH都筑の理念の①が「個人を尊重しプライバシーを守ります。」です。ご入居者は人生の先輩でありお客様です。ご入居者が「私（自分）はここで大切にされている。」ご家族が「都筑の丘で良かった。」と思っただけのような接遇を目指しています。	4月に接遇の研修を実施した。声掛けや物音など不必要な音を立てないように配慮して、日々のケアに取り組んでいる。利用者についての会話は必ず利用者に聞こえない場所に移動して行っている。個人情報を含む書類等は鍵付きのキャビネットに保管しパソコンはパスワード管理をしている。また、職員のプライバシーを守る取り組みも行っており、家族に送る記録の名前や名札はフルネームでなく、名字のみとしている。	

37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の思いや気持ちを表現できない方の思いをくみ取り「今どうしたいのかな」と考えて援助しています。散歩や、余暇支援の参加は声はかけますが無理じいはしないで自分で決めていただいています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気分を見ながら一人一人のペースにあわせています。1日のスケジュールは決めず天気がよいと1日に午前、午後数回散歩に行くこともありますが行きたくない人は新聞を読んだりテレビを見たり居眠りをしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選べない方は職員がお手伝いしながら季節に合ったものを着て頂いています。体系や体の動き等が変わりご家族ではわからない時はサイズ好み、身体の動き等を熟知している職員がご家族に了解していただき購入しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗い、食器拭き、盛り付けなどは特意の方が率先してくれ自然に役割分担ができています。人気のある献立は栄養士に話し回数を多くしてもらっています。ご近所の町中華の中華1番や銀のさらからお寿司の出前をとり楽しんでいます。お正月の手作りのお節、母の日、父の日、敬老の日は老舗の味を楽しんでいます。おいしく食べることはなよりの支援だと思っています。	食事を大切なものと捉え、3食、職員の手作りで提供している。献立は栄養士が作成し、食材管理・発注も担当している。冷凍食品は使わず、出汁は天然の食材を使って作っている。利用者の食に対する希望はすぐに取り入れている。中華や寿司の出前も楽しみ、父の日、母の日、敬老の日は老舗のお弁当を取り寄せて提供している。事業所内の畑や庭の実のなる木からの季節の収穫物も食材として使用し、調理して、提供している。ホットケーキやおはぎを作る食事レクリエーションは利用者の楽しみとなっている。利用者は、下膳（片付け）など、各々ができる範囲	

				の手伝いをしている。	
--	--	--	--	------------	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専属の栄養士によるバランスの良い献立に旬の物を取り入れています。ご飯や水分の量、調理方法、減塩などその都度相談し指導してもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎週、歯科衛生士による口腔衛生をしています。職員は口腔衛生師に相談や指導してもらっています。毎食後に歯磨きの声掛けと見守り、必要な介助をしています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握しリハビリパンツを使用している方もトイレで排泄をしていただいています。ご本人には自立支援になりご家族には経費の負担が減ることにもなります。リハビリパンツから布パンツになった方もいます。	紙パンツを使用している方も様子をみて布パンツ使用に挑戦してもらうなど改善に向けて支援している。失敗時は、羞恥心に配慮しての声掛けの上、用意してある個人用の漂白剤に1度つけ置きした後、洗濯をしている。介助が必要な方には、排泄リズムを把握して、誘導を行っている。支援を続けた結果、紙パンツから布パンツ使用に改善した事例がある。トイレでの排泄をリハビリと捉え、支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	不穏の原因が便秘であることを職員は理解しています。1日2回以上の体操やストレッチ、便秘時には歩行や下腹部の運動やマッサージをしています。排便チェック表を基にかりつけ医に相談しながら便秘薬の調整をしたり、時にはナースによる摘便をもらうこともあります。		

45	20	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>1日おきの入浴ですが、拒否の強い方は無理じいはせず翌日にしたり、声を掛ける職員を交替したり連携プレーで入浴していただいています。男性職員の入浴介助を嫌がる方は女性職員が対応しています。庭で採れる柚子を沢山入れた柚子湯は喜ばれます。入浴時に強く抵抗し職員に暴力行為をする場合は入浴は中止することもあります。</p>	<p>1日おきに午後の時間帯に入浴している。入浴の時間は、ゆっくりと寛いでもらい、利用者の思いを聞くことができる大切な時間と捉えている。入浴を好まない方には「風呂場の掃除の手伝いをお願いします」など声掛けをするなど誘導の工夫している。庭の柚子が実る冬には柚子湯を楽しんでいる。浴室、脱衣所ともにエアコンで暖めて、ヒートショックに備えている。湯かえは大きく汚れない限りかけ流しで交換している。</p>	
----	----	---	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の余暇支援、お手伝い、体操や散歩で体を動かすことが夜間の良眠に繋がります。疲れたら居室で適度の昼寝をしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬管理表にそれぞれの薬の目的、量、時間を明記して、与薬時はそれを二人の職員が確認しあい与薬しています。薬の変更があった時は薬担当職員がユニットの職員に徹底周知しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者一人一人の得意な事、好きな事、好きな歌、好きな食べ物等を職員は把握し、テレビの番組は毎日チェックし録画をしたり映画等を楽しんでいただいています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナでまだ外出を控えています。イングリッシュガーデンや遊歩道で散歩や体操をして楽しんでいます。季節の畑の収穫は皆さんとても楽しみにされています。テラスやガゼボでお茶をのんだり歌を歌ったり、天気の良い日は富士山に手を合わせ拝み「富士山はいいね。」と喜ばれます。	コロナ禍以来、事業所敷地以外への外出は控えているが、広い庭を利用して散歩を楽しんでもらうために庭を整備している。歩行リハビリが行えるように斜面を利用した遊歩道を整え、途中で休憩ができるガゼボも作った。お茶を飲んだり、木になる実を収穫したりと、庭園が利用者の楽しみの場である。居室からは避難口へもつながっているウッドデッキとテラスに自由に入りができ、そこから見える景色や庭園を楽しめる。	

50	<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症であることによる盗られ妄想等の金銭トラブルの出現があるので金銭はお預かりしていません。ご入居者にはご家族が預かっている事をその都度お話ししています。</p>		
----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたいという時は、あらかじめご家族の了解の上で折り返し電話をしていただいています。今年お正月は絵手紙を作りご家族に年賀状をだしてご家族もとても喜ばれました。手紙をご自分で書けなくなった方には、代読、代筆をすることもあります。ご家族の定期的な電話を楽しみにされています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天気の良い日はリビングの窓を開放し自然の風をとりこんでいます。広いテラスで体操したりお茶を飲むことは開放感があります。あじさい棟とやまぶき棟からは富士山が見えるので「富士山が見えるなんて幸せだね。」と喜ばれています。窓が大きく明るすぎる時はほどよい明るさにしています。CDの音楽も季節や好みで選曲しています。食事やお茶の時はピアノの自動演奏でレストランのようです。	リビングは天井が高く明るい。床暖房とエアコン、加湿器で温湿度を管理している。各フロアにはピアノが置かれており、今後コンサートも予定されている。窓の正面からは開花した河津桜を楽しむこともできる。季節感を楽しむため、毎月、季節の飾りや利用者の作品を壁に飾っている。またリビングや玄関には庭に咲く四季折々の生花が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファが2つ顔が向きあわないように置いてあります。玄関や廊下にもベンチが置いてあり、おしゃべりをしながら陽なたぼっこをしたり、1人静かに本を読まれる方もいます。		

54	23	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのある箆笥、鏡台、椅子や好みのカーテンなどご家族が工夫されてお持ちになります。認知症の進行により危険と判断した時はご家族にお話しをして持ち帰りをしていただいています。</p>	<p>居室の掃き出し窓からは、ウッドデッキに自由に出ることができ、近隣の、のどかな風景や庭を眺められる。居室にはクローゼット、介護用ベッド、マットレス、照明、エアコン、洗面台が備え付けられ、利用者は使い慣れた家具やカーテンを持ち込んでいる。冬場は、濡らしたバスタオルを各居室に数枚置くことで加湿対策をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下とリビング、ダイニングは対面式キッチンから見守りができるようになっています。洗濯物を干す畳む、食器拭き等のお手伝いは職員が見守り声を掛けながらして頂いています。</p>		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 都筑の丘作成日 令和7年 6月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	18	介護計画書と日々のケアの連動はされていますが、今後は具体的なサービス内容が日々のケアで実践されているかをチェックできるように工夫されること、また介護計画の周知を徹底してケアに活かされることを期待します。	一人ひとりの介護計画を確認し援助目標をしっかりと理解し日々のケアに繋げて行く。	援助目標ができていない日もあるはずなのに習慣で全部が〇になってしまっていた。援助目標をしっかりと理解しサービスが提供できているか確認をしながらチェック表に記入しています。チェック表も使いやすくなりやすい書式を随時検討しています	外部評価の時に指導して頂き、その後すぐに実践しています。
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。